

募集対象者の「UH-1 体験搭乗」を支援



UH-1 体験搭乗参加者（左から5番目が勝田君）
（武山駐屯地）



UH-1 搭乗前にヘルメットを試着する勝田君
（武山駐屯地）

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 岡山一海尉）は、11月25日（土）、募集対象者に対し、陸上自衛隊武山駐屯地で実施されたUH-1の体験搭乗を支援した。

当日は、雲ひとつなく、風も穏やかで絶好の飛行日和となった。東部方面ヘリコプター隊では、今春入隊した2等陸士2名を含む6名で体験搭乗を実施し、搭乗前教育では、隊員によるわかりやすい説明に参加者からは笑い声此起彼伏など、終始和やかな雰囲気であった。

この日初めてヘリコプターに搭乗する大学2年生の勝田 智哉君は、機内に乗り込み、エンジン音がすると、離陸への期待に胸が高鳴っている様子だった。機体は高度を上げ、冠雪した富士山と江の島を望み、そして眼下には三浦半島の海岸線が広がった、勝田君は初めて見るヘリコプターからの景色に目を輝かせて見入っていた。

勝田君は「隊員の方たちが、かっこよかったです。入隊して1年も経っていないとは思いませんでした。貴重な体験をすることができ、もっと自衛隊を知りたいと思いました」と感想を述べていた。

厚木募集案内所は、今後も募集対象者に様々な体験を通じて自衛隊に関心を抱いてもらえるように積極的にPRし、1人でも多くの志願者を獲得できるように募集活動に励んでいきたいとしている。

「横浜消防出初式2018」で自衛隊をPR



赤レンガ倉庫前にて自衛隊ブースを見学する来場者たち



広報活動する神奈川地本マスコット「はまにゃん」

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 山野 太資一 等海佐）は、1月7日（日）、横浜赤レンガ倉庫広場で開催された「横浜消防出初式2018」において、広報ブースを設置し、神奈川地本マスコット「はまにゃん」と共に自衛隊をPRした。

当日イベントは、市内最大級の市民参加型イベントで、消防や海上保安庁消防船による放水演技、消防音楽隊のドリル演技、救助体験、地元企業による出店やステージショーが行われ、約7万人の来場者で賑わった。

自衛隊ブースでは、災害派遣時の人命救助や給水支援などの写真パネル、非常用糧食を展示し、訪れた来場者の関心を集めた。過去に4回災害派遣に参加した隊員による活動紹介を聞いた市民は「分かりやすかった」「当時の状況を思い浮かべることができ、勉強になった」など感想を述べていた。また、募集用リーフレット及び、募集用漫画冊子「平和を仕事にする」約500部を来場した若者らに配布し、自衛官募集をPRした。

神奈川地本マスコット「はまにゃん」は、キャラクターふれあいコーナーにて消防局「ハマくん」や横浜マリノス「マリノスケ」らと共に、子供たちとの写真撮影に応じるなど、愛嬌あるしぐさで人気を集めた。神奈川地本は、今後も自衛隊の災害派遣活動を広くPRし、自衛隊への更なる理解に努め、募集成果につなげていきたいとしている。